

# Nagano Nippo

## 茅野市の鹿捕獲数 実施隊が貢献809頭

掲載日時 2013-4-10 6:01:00 | トピック: 社会

茅野市が昨年度設置した「鳥獣被害対策実施隊」によるニホンジカの捕獲数が496頭となり、目標の300頭を大幅に上回ったことが市鳥獣被害対策室のまとめで分かった。例年300頭程度だった同市の捕獲数は、猟友会委託分を含めて809頭にまで増加した。市は今年度、同市での個体数が減少に転じる分岐点とされる1000頭に捕獲目標を引き上げ、捕獲活動に取り組む方針だ。

実施隊は、銃猟に比べて通年の狩猟が可能な「くくりわな」を使った捕獲を進めようと、昨年7月に発足した。

地元の諏訪猟友会茅野支部に所属する30～80代の会員21人を隊員に委嘱し、くくりわなを1人につき10個貸し出すとともに、報奨金として捕獲したニホンジカ1頭につき5000円、報酬として日々の見回り業務に対し日額1000円を支給した。

対策室によると、出猟日数は昨年7月1日～11月14日と今年3月16～31日の計152日。隊員は獣道を探し、わなを仕掛けた。地区別の捕獲数は「ちの・宮川・金沢」が94頭(メス56頭)、「豊平・玉川・泉野・湖東」が234頭(同123頭)、「米沢・北山」が168頭(同101頭)で、捕獲と見回りの費用は総額420万円だった。

猟友会に委託して実施する捕獲は313頭(銃猟225頭、わな猟88頭)だった。

市は4月から農林課内に対策室を新設し、室長以下3人の職員を配置。捕獲と防護を柱に農作物や市民生活、観光資源を守る取り組みを進める。

対策室の渡辺雄一係長は「今年度の実施隊は3カ月早い4月から活動できるため、出猟日数が90日程度増える。増員も検討しながら、捕獲目標1000頭を達成できるよう取り組み、鳥獣被害を減らしたい。野生生物との共存の方法も探っていきたい」と話している。

長野日報 (Nagano Nippo Web)で、さらに多くのニュースを読むことができます  
<http://www.nagano-np.co.jp/>

このニュースが掲載されているURL:

<http://www.nagano-np.co.jp/modules/news/article.php?storyid=28204>

Copyright 2005 The Nagano Nippo.All rights reserved.